

平成28年度の活動について



公募委員の再公募, 推薦委員の再推薦の実施

協議会の委員について、公募委員の任期満了に伴う再公募、それに併せた推薦委員の再推薦を実施し、再編成した組織で協議会を進めていくことになりました。

7月22日 第1回協議会

平成27年度の事業結果、平成28年度の事業計画を報告し、学校MM, ワークショップ, 益子町での地域フォーラムの開催, 先進都市事例調査・研究を実施することに決定しました。

7月8日・12月7日 茂木町・芳賀町での学校MMの実施

公共交通である路線バスについて利用方法やマナーを学ぶことで児童の公共的な資質の向上を図るとともに、バスを身近に感じることで路線バスの利用促進を図ることを目的として、「学校MM」を実施しました。

- 【内容】 対象：茂木町立茂木小学校 3年生, 芳賀町立芳賀南小学校 4年生
・乗降体験：ジェイアールバス（茂木小）、東野バス（芳賀南小）の乗り方教室を実施
※ 方向幕・バス停の見方（行き先確認）、整理券の取り方、



- 乗車中のルール・マナー、降車ボタンの使用方法、運賃表の見方、運賃の支払方法等を学習
・福祉体験：車椅子での乗降体験、車椅子の固定方法などバス車両の対応を学習
・デマンド交通の紹介：デマンドタクシー「めぐるくん」（茂木町立茂木小）
「ひばり」（芳賀町立芳賀南小）



【感想】（児童から）

- ・バスの乗車体験で時刻表の見方がわかりました。
- ・バリアフリー体験は、バスが下がって、少し斜めだったのでドキドキしました。
（担任の先生から）
- ・とてもよい体験をさせてもらった。「かっこいい」とあこがれを抱いた子もいた。

11月2日 第2回協議会

中間報告としてワークショップで現地視察した周遊ルートやホームページの改善点等について報告するとともに、益子町での地域フォーラムの詳細、先進都市事例調査・研究の視察先を決定しました。

新たな周遊ルート策定ワークショップ

公共交通の利用促進のため、鉄道や路線バスを活用した新たな周遊ルートを策定しました。ワークショップ形式でテーマや目的地を検討し、実際にルートを巡って策定した周遊ルートはホームページに掲載しました。【HP上での掲載ページ】 www.tochigi-pubtranet.com/32.html

【策定した周遊ルート】・見る！触れる！食べる！よくばり女子旅

・陶芸の里からSLが走るまちへ！まちなか散策の旅



ホームページとフェイスブックの活用検討ワークショップ

公共交通に対する理解や利用促進のため、昨年度開設したホームページを、より多くの方に利用してもらう方法について、ワークショップの実施により検討し、今後の改善策を決定しました。

【検討結果：閲覧数増加のための今後の改善策】

- ・各市町の観光協会やイベントへ掲載してもらえるよう働きかけていく
- ・バナーにメッセージ性あるタイトルや公共交通の画像等を用い、どのようなページかわかりやすくする
- ・「ちょい旅とちぎ」表紙へのQRコード添付（対応済）・ルート体験者が書き込めるページの作成



1月16日 地域フォーラムの実施

- ・名称 「くらしの足」から「おでかけ」のきっかけをつくる
- ・日時 平成29年1月16日
- ・場所 益子町 益子駅多目的ホール
- ・内容 基調講演 講師 福島大学 人文社会学群 経済経営学類 准教授 吉田 樹 氏
パネルディスカッション
- ・参加者 110名

基調講演では、「まちづくりと連携させることがこれからの地域交通政策に期待される役割である。交通単体では人が交流する場所を生み出せないが、公共交通のネットワークに着目し、拠点をつくることで作りだせる。交通を単なる移動手段ではなく、旅（＝おでかけ）を快適にするサポート役（時に主役）にするべく仕掛けていくことが重要である。まちを元気にするツールとして、地域の生活交通を活かす取組が、地方創生の鍵となる。」とのお話をいただきました。

先進都市事例調査・研究

県央地域が抱える短期または長期的課題に関する先進事例を調査、研究するために、先進地視察を実施しました。

《視察地》千葉県南房総市：・公共交通マップによる利用促進 ・高校生への公共交通通学支援 等
いすみ鉄道株：・観光列車による利用促進 ・沿線学校、店舗による支援 等

《視察日》平成29年2月23日～24日

《視察結果》

千葉県南房総市

利用促進媒体等の作成を行う上では、行政と事業者だけでなく住民の意見も取り入れてニーズを汲み取ることが重要。また、家の前のバスがどの路線を走っていて、どこまで行けるかという基本的な部分を理解してもらうことが必要。今ある資源を最大限に活用して、工夫しながら活性化を図っていく。地方都市での公共交通活性化には、このような地道な努力が大切。

いすみ鉄道株

ムーミン列車、ムーミンショップともに大規模な投資はせず、豪華なものではないが、SNSやマスコミを利用した積極的なPRにより有名な観光スポットになっているなど、ほんの少しの工夫で大きな効果を上げられる。通学定期券の利用は減少傾向にあるが、観光という別の視点で考え、知恵を絞り、さまざまな利用促進を行うことで、利用客増加に繋がっている。また、沿線住民の鉄道存続に対する思いが強く、なかでも大多喜高校の取組は大変参考になった。今後生かせる部分は取り入れていきたい。



3月22日 第3回協議会

第3回協議会では、ワークショップで策定した周遊ルートやホームページの改善策、地域フォーラムの結果を報告するとともに、来年度のワークショップの概要について決定いたしました。また、来年度も引き続き、学校MM、先進都市事例調査・研究の実施を決定しました。